

1. 微細脳損傷の子

【問い】 私の学級に「微細脳損傷(MBD)」と専門医から診断された子がいます。学級担任としてこの子に対し、どのような点に気をつけてやれば効果があるでしょうか。

【答え】 MBD児の症状は、①知能は正常②学業成績が不良③落ち着きがなく動き回る④気が散りやすい⑤読み書きができない⑥不器用でぎこちない⑦衝動的でカッとなりやすい⑧周囲の人たちとうまく付き合えない…などです。これらの症状が全部そろっているときもあり、またはいくつか欠けているときもあり、一定していません。

ご質問のように専門医の検診があるならば、次の点に注意されて指導するようになしてください。

①目と手の共応動作がうまくできないので、ボタンかけや小さな穴にヒモを通すなどの細かい動作を練習させる②あまり大きなグループには入れないので、小さなグループに入れて忍耐性をつけさせる③他の子と区別した例外的な扱いをできるだけ避ける④落ち着きがないからといって子どもを抑えつけないで1日1回は外で思いきり遊ばせる⑤よい面を伸ばし、劣った面を補うように指導する。この際には指導はソフトに静かに行き、なにかをやらせるときは集中的な訓練をし、短時間で切り上げるようにする⑥不安や緊張を取り除いてやることは大切です。しかし子どもがなにをしてもしからなくて「いいよ、いいよ」と甘やかすのは禁物です⑦できるだけ作業に集中できるようにふん囲気をつくとともに、学校生活を規則正しくさせる⑧家庭との連絡を密にし、お互いになんでも言いあえるふん囲気をつくる。

以上のような点を心がけて指導すれば、よいと思います。